



忘れられない授業がある。
忘れられない学びになる。

語り合い、探究する中で、
「自己に引きつけた語り」を生み出す
カリキュラムの提案

「わたし」が
変わる
「ものがたり」の
学び

研究主題

令和2年度 教育研究発表会のご案内

令和2年6月12日(金)
8時30分～16時35分

香川大学教育学部附属坂出中学校

後援

香川県教育委員会、坂出市教育委員会
宇多津町教育委員会、綾川町教育委員会
香川県中学校長会、坂出市中学校長会、綾歌郡中学校長会
香川県中学校教育研究会、坂出・綾歌中学校教育研究会

講演

15:25 ～ 16:35



演題

新学習指導要領が実現したもの、
積み残したもの

講師

上智大学総合人間科学部

教授 奈須 正裕



プロフィール

上智大学総合人間科学部教授。徳島県生まれ。徳島大学教育学部卒、東京大学大学院修了、博士（教育学）。国立教育研究所室長、立教大学教授等を経て現職。専門は教育心理学、教育方法学。中央教育審議会教育課程部会委員。主な著書に『資質・能力』と学びのメカニズム』（東洋館出版社）、『次代の学びを創る知恵とワザ』（ぎょうせい）など

本校の研究に寄せて

教科はとことん教科らしく、総合も総合でしか到達できない境地へ。振り切った二つの学びが子どもの中で「ものがたり」として統合され意味として析出する時、すべての経験はその子の人生を支える確かな礎となる。学校の在り方を根源的に問う挑戦的な研究である。

申し込み方法

参加を希望される方は、申込書（別紙）に必要事項をご記入の上、5月28日（木）までに郵送またはファックスにてお申し込みください。また、本校ホームページから申し込むこともできます。

■備考

参加料・資料代：無料

昼食：当日、お弁当を販売します。

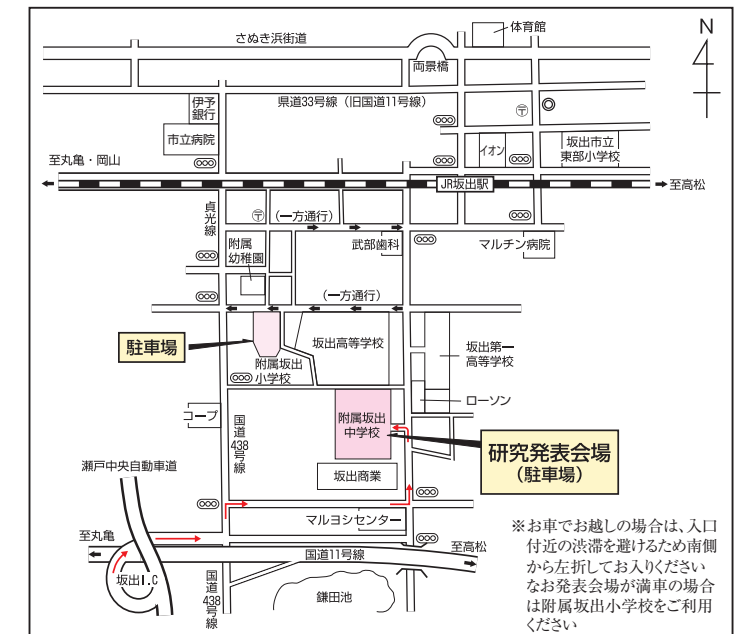
■アクセス

鉄道：JR坂出駅より徒歩5分

自動車：坂出インターより5分

飛行機：高松空港から車で40分

※車でお越しの際は、東側よりお入りください。



香川大学教育学部附属坂出中学校

〒762-0037 香川県坂出市青葉町1番7号
TEL:0877-46-2695 FAX:0877-46-4428

<http://www.sch.ed.kagawa-u.ac.jp/>
sakachu@ed.kagawa-u.ac.jp

香川大学教育学部附属坂出中学校
校長 平 篤 志



自立した学習者

実 自己に
引きつけた
語り

葉 探究
スモール

光 情報
経験

素直に
語り合える
集団づくり

共創型探究学習
チャトル
CAN

特別活動

ものがたりの
授業
共通学習
1・II

語り合いの
時間

自分に気づけることもたくさんありました。1つの学びが終わって、振り返って見て、「まだやりたい」とか「次はこんなことを学びたい」と思うこともたくさんあって、それは、自分が「その学び」に本当に入りこんでいることであった証なのかなと思います。

附坂中に入って、3年間学んで、自分が一番考え方が変わったなと思うことは、勉強は一人でできるものと考えていたけれど、たくさん他の人とすることだと思うようになったことです。附坂中に入る前は、勉強は正しいことを理解していくものだから、一人でがんばって教科書の知識などを頭にたたきこんでいけばいいやと思っていましたが、附坂中での授業、サトル、CANはみんなで話し合ったりして、他の人と一緒に学んでいくという感じでした。はじめは大変だったけど、だんだん楽しくなりました。勉強は正しいことだけじゃなくて、どうなのということを知って、みんなの意見や様々な考え方を学ぶことは楽しいことということを知りました。一生忘れることはないだろうと思えるくらい深い学びができました。

国語

〈研究テーマ〉

言語による認識の力をつけ、豊かな言語文化を育む国語教室の創造
—自己理解を促し、言葉の価値を実感する国語科授業のあり方—

■公開授業Ⅱ

授業者：木村 香織

3年「万葉・古今・新古今」

新元号の出典で注目を集めた万葉集。和歌を通して、時代を超えても変わらない人間の本質的な部分に気づき、古典に親しみをもつことをねらいとします。短い言葉に凝縮された心情や美を読み取ることで、言葉をつまみ直し、言葉の価値を実感する授業をめざします。

■公開授業Ⅲ

授業者：田村 恭子

2年「『オツベルと象』をどう読むか『オツベルと象』宮沢賢治」

オツベルは悪者なのか、このふたりの結末はなぜ第5日曜まで語られなかったのか、また最終行の意味とは…。語り手に注目して読むことで「ものがたり」が生まれ、作品の世界が広がっていくことを実感する、そんな授業にしていきたいと思います。

■研究協議会

〈指導者〉

香川県教育委員会事務局義務教育課 香川大学教育学部
主任指導主事 教授
藤崎 裕子 佐藤 明宏

保健体育

〈研究テーマ〉

運動・スポーツの面白さに浸り、豊かなスポーツライフの実現へつなぐ保健体育学習
—運動・スポーツの本質を問い続ける共同体づくりを通して—

■公開授業Ⅱ

授業者：石川 敦子

1年「球技 シットティングバレーボール」

誰もがができる素晴らしいスポーツ！シットティングバレーボールを通して、運動・スポーツの面白さやこれまでの見方・考え方がより深いものになり、豊かなスポーツライフへとつながります。

■公開授業Ⅲ

授業者：徳永 貴仁

3年「文化としてのスポーツ～ブラインドサッカーを通じて～」

スポーツにはどんな魅力や価値があるのか。東京オリパライヤーの今年、ブラインドサッカーを通じてスポーツの魅力や価値について再認識する必要があるのではないか。スポーツへの関わり方を知り、体験することで自分の中のスポーツ観がガラリと変わります！

■研究協議会

〈指導者〉

香川県教育委員会事務局保健体育課 香川大学教育学部
主任指導主事 准教授
三宅 健司 米村 耕平

学校保健

〈提案テーマ〉

人間性豊かで心身ともにたくましい子供の育成をめざして
—「他者と関わる力」を育む養護教諭の関わり—

■講演

提案者：日本 亜矢

スクールソーシャルワーカーと連携し、ソーシャルスキルトレーニングを実施し「他者と関わる力」を育む、養護教諭の関わりの工夫について提案します。

■講演

スクールソーシャルワーカー：藤澤 茜先生

グループワークを活用した生徒支援
～養護教諭とソーシャルワーカーの視点を活かしたSSTから教育相談活動への展開～

■研究協議会

〈指導者〉

香川県教育委員会事務局保健体育課 香川大学教育学部
指導主事 准教授
橘 和代 宮前 淳子

社会

〈研究テーマ〉

これからの社会のあり方を自ら考える民主社会の形成者の育成をめざした社会科学学習のあり方
—「探究的な学びの過程」を通して「今・ここ」を相対化し「社会的自己」をつまみ直し—

■公開授業Ⅱ

授業者：大和田 俊

2年「日米和親条約の物語」

ペリーの開国要求に対する幕府の対応について語り合い、19世紀の世界史における日米和親条約の意義を考えていきます。さらに、日米和親条約締結の歴史から大国に対するこれからの日本外交のあり方をつまみ直すことで歴史を学ぶ意味や価値を見出していきます。

■公開授業Ⅲ

授業者：大西 正芳

1年「アメリカの農業の物語」

世界最大の穀倉地帯として知られるアメリカ。「なぜアメリカはここまで大量に生産できるのか？」生徒とともに探究し、アメリカの農業をつまみ直していきます。そして語り合う中で、身の回りの景観に対する新たな見方や考え方に気づいていきます。

■研究協議会

〈指導者〉

香川県教育委員会事務局義務教育課 文教大学教育学部
主任指導主事 教授
三野 健 伊藤 裕康

技術・家庭

〈研究テーマ〉

「生活に始まり、生活に戻る」実践力を育む技術・家庭科教育
—生活を語り合い、実践することで生まれる「ものがたり」を通して—

■公開授業Ⅱ

授業者：大西 昌代

1年「ものを消費する ～衣生活を考える～」

「自分のことだけ考えて衣服を選ぶ？」消費者としてその選択は正しいのか。世の中には安く、たくさん衣服があふれています。ものを選択し、それを消費することは、投票行為です。今の生活の「当たり前」を見直し、自己の消費行動について語り合います。

■公開授業Ⅲ

授業者：渡邊 広規

1年「 接合 」

「材料を接合する」この行為には一体どのような要素が含まれているのか。接合に対する自分の考えを仲間と語り合う中で、生徒は時代を越えた接合の強さと美しさに出会います。そして接合に対する考え方が変わり、生活の見え方が変わり、実践が変わります。

■研究協議会

〈指導者〉

坂出市教育委員会 高松市立下笠居小学校 香川大学教育学部 香川大学教育学部
指導主事 校長 教授 教授
國木 良輝 久保田 恭子 宮崎 英一 妹尾 理子

時 程

8:30

9:00

9:30

10:00

10:15

11:05

11:20

12:10

13:10

14:00

14:10

15:10

15:25

16:35

受

付

全

体

会

全

体

提

案

移

動

・

休

憩

公

開

授

業

Ⅰ

CANの発表

移

動

・

休

憩

公

開

授

業

Ⅱ

昼

食

・

休

憩

10:55

公

開

授

業

Ⅲ

移

動

・

休

憩

教

科

研

究

協

議

会

移

動

・

休

憩

講

演

新

学

習

指

導

要

領

が

実

現

し

た

も

の

・

積

み

残

し

た

も

の

(上智大学教授 奈須正裕先生)

学校保健研究協議会

数 学

〈研究テーマ〉

数学的な見方・考え方が豊かな生徒の育成
—数学的活動を意識した授業から生まれる「ものがたり」を通して—

■公開授業Ⅰ

授業者：渡辺 宏司

3年「相似な図形」

生徒は、図形の論証の際、様々な補助線を活用して証明を行う。補助線で、図形の見方が変わる。補助線で、証明の考え方が変わる。生徒が、三角形の角の二等分線の比を証明する中で、補助線の意味や価値を実感し、「自己に引き付けた語り」を生み出します。

■公開授業Ⅲ

授業者：吉田 真人

2年「箱ひげ図」

「箱ひげ図からどのようなことが言えるのか」「本当にそれは正しいのだろうか」と、生徒たちは批判的に考察しながら統計的な問題解決に取り組みます。お互いの考えを語り合っていく中で、データの比較に対する新たな見方やそのおもしろさに気づいていきます。

■研究協議会

〈指導者〉

香川県教育委員会事務局義務教育課 香川大学教育学部
主任指導主事 准教授
小山 圭 松島 充

外国語

〈研究テーマ〉

コミュニケーションへの意欲を高める英語授業の創造
—主体的な言語活動から生まれる「ものがたり」を通して—

■公開授業Ⅱ

授業者：眞鍋 容子

3年「Think about cultural differences」

私たちはなぜ英語を学ぶのか。異なる言語を学ぶことで異なる文化を知り、多様な価値観に出会うことができます。ことわざや慣用語を通して、生徒が異文化間コミュニケーションの意味や価値を実感する授業をめざします。

■公開授業Ⅲ

授業者：黒田 健太

2年「Why Japanese people?—英語再発見—」

私たちが教科書を通して学ぶ英語表現。相手や状況によっては私たちが意図していないニュアンスで伝わってしまうことがあります。ALTとのやり取りを通して英語表現に対する新たな気づきを促すとともに、コミュニケーションへの意欲を高めていきます。

■研究協議会

〈指導者〉

西部教育事務所 香川大学教育学部
主任指導主事 准教授
松本 大輔 中住 幸治

理 科

〈研究テーマ〉

自然現象から問いを見いだし、自ら探究できる生徒の育成
—科学する共同体の中でつむがれる「ものがたり」を通して—

■公開授業Ⅱ

授業者：島根 雅史

3年「カビの不思議」

食べ物やお風呂場にいつの間にか生えているカビを見て汚いものと思っている生徒たち。でも本当にそうなの？そもそもカビはなぜ生えるの？カビの不思議を解き明かしていくなかで、カビと自分との関係に気づき、自然を新たな目でつまみ直します。

■公開授業Ⅲ

授業者：山下 慎平

1年「不思議な力『摩擦力』

摩擦力って・・・物体の運動の邪魔をして、動きを止めている力？別になくてもいいんじゃないの？と考えている生徒たち。そんな摩擦力の探究を通して、力の世界の広がりを実感し、今生きている世界の見方が変わる、そんな授業をめざします。

■研究協議会

〈指導者〉

香川県教育委員会事務局義務教育課 香川大学教育学部
主任指導主事 教授
若林 教裕 笠 潤平

音 楽

〈研究テーマ〉

音や音楽の意味を見出し、音楽とのかかわりを深める学習のあり方
—音楽観のつまみ直しや変容からつむがれる「ものがたり」を通して—

■公開授業Ⅲ

授業者：堀田 真央

3年「音楽が伝えるもの～オペラ『アイダ』を通して～」

「堅苦しい」となぜ思うのか。オペラに対する「当たり前」を見直し、作曲家は音楽で何を伝えようとしたのか考えていきます。オペラだけでなく、音や音楽そのものについて考える授業をめざします。

■研究協議会

〈指導者〉

綾川町立綾上中学校 香川大学教育学部
校長 教授
十川 裕史 岡田 知也

美 術

〈研究テーマ〉

創造活動の喜びを見出す美術の学び
—仲間と深め合う創造活動を通して新たな見方・感じ方を獲得する授業の提案—

■公開授業Ⅲ

授業者：渡邊 洋往

3年「世界を変えるデザイン」

デザインがあれば生活は豊かになるけどなくても困らないもの？自分たちの生活環境から問題を発見し、原因を掘り下げ、問題解決のアプローチをしていくことで、自分を取り巻く世界を変える創造活動の力を発見します。

■研究協議会

〈指導者〉

観音寺市立豊浜小学校 香川大学教育学部
校長 准教授
河内 直人 吉川 暢子